

先輩から学ぶプレゼン術 難関大生が1年生に語る



1年生対象に「先輩から学ぶプレゼン術」が11月3日（土）に開催されました。本校から難関大学へと進学した13名の先輩に来ていただき、大学生活や将来のビジョンに関するプレゼンをしていただきました。生徒達にとって、先輩のプレゼン方法や、前向きに努力する姿から多くの学びがあったようです。



感想 どの先輩も輝いてみえました。それぞれ自分のやりたいことを見つけて、将来へのビジョンをもって研究や学問に日々励んでいる姿は、スライド越しでも伝わってきました。4人の先輩方が私たちに届けてくださったメッセージは、強く印象に残りました。今過ごしている高校生活が大学での基盤になることを忘れずに日々を過ごしたいです。

感想 プレゼンの技術はとても参考になるものばかりでした。相手の視点でスライドを作り、相手が知りたいことを話すという基本的なことの大切さに気づかされました。これからのプレゼン発表に生かしていきたいなと思います。

感想 どの人も伝えたいことがはっきりしていて、語りかけてきて、プレゼンにすごく引き込まれました。そして、距離が近くて安心できる雰囲気か楽しかったです。今回のプレゼンで、進路について、いろんな面からいろんなことを吸収しました。



放課後には座談会！

放課後には「座談会」を開催。2年生も参加し、先輩にもっと深く聞きたかったことや、話を聞けなかった先輩に質問しました。生徒たちは大学生活や高校の時の学習方法など、より詳しい話を聞き、満足した様子でした。

社会人と語る会 大先輩からの問いに2年生がディスカッション



2年生対象にした「社会人と語る会」が11月3日（土）に開催されました。

12分野で活躍する本校卒業生の方々を講師としてお招きし、仕事とは何か、社会とはどういう場所かについて語っていただきました。

講師の方によるプレゼンテーションの後、生徒は講師から投げかけられた“問い”に対してグループで話し合い、発表しました。「社会に出るために、今何をすべきなのか」といったことを深く考える機会となったようです。



感想 高校に入り、自分の将来について考えることが増えたけれど、今日のお話を聞いて、同時に将来の社会についても考えなければいけないのだと分かりました。これから労働力人口が減っていく中で、自分がしなければならぬことは自分の得意分野を磨くことであり、そのためには周りに流されたり、常識に捉われたり、何かを与えられるまで待つのではなく、自分で新しく作り、変えていくことが重要で、それを踏まえた上で大学や将来を見つめ、考えなければならぬと思いました。

感想 グループセッションでは、他のグループから異なる意見を聞き、驚きました。「職業人としての人間力」として求められているものは、新しいものを受け入れ、うまく共存していくことだという意見が一番印象に残りました。



NS探究校内発表会



21～23Hの「NS探究 α 校内発表会」の予選が12月12日(水)、本選が17日(月)に行われました。



予選では、生徒が3会場に分かれ、「商店街」「観光」「加賀野菜」「新幹線」「スポーツ」など石川県の地域課題をテーマにグループ発表を行いました。

本選では、予選を通過した6グループがプレゼンを披露しました。質疑応答では、鋭い質問に対して的確に答える姿に、会場は大いに盛り上がりました。

「アプローチが違って面白い」「説得力があった」「プレゼン力に驚き」

感想 同じテーマを扱っていてもテーマへのアプローチの仕方がグループごとに違って面白かった。高校生ならではの発想力の豊かさに溢れていた。この発想力に、大人の力が加わればローカル課題を解決していくことができるかもしれないと思った。

感想 実現可能性のある提案もやはり説得力があった。今後なにか提案するプレゼンをするときには生かしていきたいと思いました。

感想 他の班の発表を聞いて人を惹きつけるプレゼン力にとっても驚きました！



本選は6グループがプレゼン

最優秀賞と優秀賞に輝いた3グループは1月29日(火)、石川県地場産業振興センターで行われる「ニュースーパーハイスクール課題研究合同発表会」に出場し、他校の生徒たちを相手にプレゼンテーションを行います。本校の代表グループとして頑張ってきてほしいと思います。

結果

【最優秀賞】

23H2班 「加賀野菜を食べよう」
今村海凪 紺谷有紀 真田桃夏
中雅斗 山川稔仁

【優秀賞】

22H3班 「LRTを金沢の街づくりに」
岩崎理実 上野遥 吉川昇悟
若林祐太
22H4班 「家庭ごみ減量への道」
中嶋優 宮本遙奈 大野聖人
早乙女太一

感想 この発表に至るまでに培ったスキルや経験、発表会を通して学んだ多様な課題と問題の捉え方は必ず僕の人生に良い影響をもたらしてくれると思う。

Discussion Day

1年生が
外国人と

12月8日(土)に1年生全員が参加するディスカッションデーがありました。ALTや金沢大学の留学生33名をお迎えして交流しました。

生徒は4～5人で1つのグループとなって外国人と英語で様々なテーマについて話をしました。



感想 英語で海外の人と喋る機会があまりなく不安だったが、話してみると意外と楽しかったし、内容も理解できた。まず話してみることが大切だと感じた。

感想 自分から積極的にコミュニケーションをとれたし、向こうも明るく話しやすくてためになったし、チャンスを無駄にしなくてよかった。またこのような機会があれば、もっと話したい。

「グローバル×医学」



第2回グローバルリーダー養成講座・医学部研究会「グローバル×医学」は9月14日(金)にiStudioで行われました。本校卒業生で金沢大学医薬保健学域医学類6年生

の吉田宏太郎さんと増田佳純さんをお招きし、海外の医療現場を訪れた経験などを伺いました。

感想 ただお金や物資の支援では私たちにはみえない実状が多くあると感じました。だからまずは、その課題が起きている現状について深く知り、それをどう解決すべきか真剣に考えたいと思いました。

感想 他国の医療に携わるにあたり、お金やインフラ、宗教、言語など、実際に現地に行ってみないと分からない壁を知ることができ、また、経験の重要性を感じました。